



# 東都よみうり

## 映画上映会 開催方式多彩に

### バリアフリー鑑賞やママさんタイムも

「タワーホール船堀」(江戸川区船堀)では現在開催中の第1回「船堀芸術祭」の期間中、「船堀映画祭」(今年は11月10、11日)の実行委員会企画協力による映画上映が始まっているが、このほかにも実行委員会方式のドキュメンタリー上映会や幼児も同席できる「ママさんタイム」を設ける例や、音声ガイドと字幕朗読などが入るバリアフリー映画上映会もあり、多彩になってきた。

バリアフリー映画鑑賞推進団体「シティ・ライツ」は、今月24日に江戸東京博物館(墨田区横網)で「City Lights 映画祭」を開く。音声ガイドと字幕朗読、日本語字幕付きで上映するこの映画祭は今回で5回目。この団体は、目や耳が不自由な人や車椅子の人とともに映画を楽しむ、「心のバリアフリー」を広げる活動をしている。

今年のはじめ、「思ひ出そう 大切なこと」のドキュメンタリー映画「うまれる」の上映会

で、上映作品はアメリカ映画「素晴らしき哉、人生」(午前11時5分)、是枝裕和監督の「奇跡」(午後2時15分)の2本。「奇跡」上映後には是枝監督のゲストトークもある。1作品当日1000円、前売り800円。

2作品セット券1500円。問い合わせはシティ・ライツ事務局(03-917-1995)。

今年のはじめ、「思ひ出そう 大切なこと」のドキュメンタリー映画「うまれる」の上映会



「うまれる」の実行委員たちと打ち合わせ中の望月実行委員長(右)

今年のはじめ、「思ひ出そう 大切なこと」のドキュメンタリー映画「うまれる」の上映会

生命や親子関係を見つめ、選択していく4組の夫婦の記録だ。望月さんは「生命の根源を考えさせられる映画。これを見ると命を粗末にできなくなります」。子供が多い同区での上映の意義を語りつつ、「思春期の人や精神疾患で悩む人、独身男性1人でも見てほしい」と呼びかけている。22日は午前10時、午後1時30分からの2回上映。当日券1500円、前売り1300円(高校生以下1000円)。(高校生以下1000円)。各回とも終了後にゲストのトークがある。

◇

船堀芸術祭では、地下1階「船堀シネパ

ル」で「マーガレット・

サッチャー 鉄の女の

涙」を17日まで上映中。

18、29日は「アルマエ・

ロマエ」。各1200

円。ほかに、同芸術祭

特別上映「レオニー」が

今月29日に5階小ホールで午前11時、午後2

時、6時の3回。ゲストトーク付きで当日1

200円(前売り100

00円)。問い合わせは

船堀シネパル(03-565

8-32330)。